

祝辞

一般社団法人全国中小建設業協会会長 土志田 領司



2010年9月にご入会され、明けた3月東日本大震災に見舞われ、激動の船出であったろうと思っておこされます。当時、私は横浜建設業協会の副会長として、11年4月1日から2日に横浜を夜中に出発し、トラック8台に神奈川県内から集められた救援物資を載せて気仙沼市へ向かい、気仙沼消防本部避難所に早朝に到着したことを昨日のように憶えております。設立10周年を迎え、これからも全中建設の仲間として大いに力を発揮されますことを願っております。10年間、戦い続けた宮城会長をはじめとした会員の皆さまのたゆみない団結力が、結果として現在のみや中建設の歴史となっております。深く敬意を表するものであります。さて、劇的な構造改革が未経験の速さと規模で進行しております。私達、地場の中小建設業も対応しなければならぬということの理解は地方企業まで浸透しておりますが、品確法に明文化されている適正な利潤が確保できるようにという法の趣旨が発注者側に今でも浸透されていません。ここを理解いただけませんと、長時間労働の是正も週休2日制も担い手確保も叶いません。これら働き方改革につきましては、全中建設として引き続き公共事業発注者をお願いしてまいります。また、畑中前会長にご指導いただいた指定公共機関につきましては、4月1日付で国から指定されました。最後になりますが、コロナ禍でもわれわれの本分を忘れず、力を合わせて難局を乗り越えたいと考えておりますので、みや中建設のさらなるご発展と、傘下の会員の今後ますますのご活躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。

みやぎ中小建設業協会 設立10周年記念特集

宮城洋幸会長、畑中孝治副会長(初代)対談



（一社）みやぎ中小建設業協会が設立10周年を迎えた。設立8カ月後には東日本大震災が発生し、会員企業はそれぞれの地域で応急復旧に尽力したほか近年、多発する甚大な豪雨災害の現場にもいち早く駆けつけ、地域の安心・安全を支え続けてきた。復興需要の終息に伴う受注競争の激化や慢性化する担い手不足など、業界を取り巻く環境が厳しさを増す中、次世代の建設人に求められるものは何かと、みや中建設の宮城洋幸会長（宮城建設工業代表取締役会長）と初代会長の畑中孝治氏（巧成建設代表取締役社長）に伺った。聞き手は小島義弘本紙取締役副社長兼編集総局長。

みやぎ中小建設業協会が設立10周年を迎えました。協会設立の経緯をお聞かせ下さい。宮城 当時は価格のみの力から、価格に加えて技術力などを評価する総合評価方式へと入札制度が変わっていった時期でした。経営基盤の弱い中小建設業者は受注の確保が難しくなり、改善を要望しようにも一企業では国や県などに開いていただけないのが現状でした。地元中小企業の声を届けるには協会設立が必要で、有志8社のうち設立発起人7

さらなる協会の発展を

7月に協会を設立後、9月には全国中小建設業協会に入会し、宮城支部として活動を開始しました。翌年3月には東日本大震災が発生しました。道路の改修など、14項目にわたる復旧活動に尽力しました。当時は協会設立直後だったため県や仙台市と防災協定は結んでおらず、協会の支援体制も整っていませんでした。協会が県や仙台市に当てるべき役割は、建築物の応急修理を中心とした1000件ほどの対応のほか、宮城県警察の依頼で行方不明者の捜索などを行っていました。現在は地元の建設会社だけで手が回らない状況で、仙台市内の建設業者であっても県内各地の被災現場に行くことが当たり前に行かれています。畑中 大震災の当時の会員数は33社でしたが、栗原市や加美町、丸森町など、各自治体からの支援要請があったため、協会各社がそれぞれの地域でがれきの処理から始まり、河川や

沿革

- 2010年(平成22年) 7月8日 設立発起人7社にて登記。初代会長として畑中孝治氏就任。9月17日 一般社団法人全国中小建設業協会へ加盟。宮城支部として活動開始。2011年(平成23年) 3月11日 東日本大震災発生。翌日より会員各社は宮城県や仙石市および各市町村ならび警察等の要請により被災各地に赴き多数の建物の応急修理や道路改修ならびに人命救助等に当たる。4月1日 仙台市と防災協定(災害時における被災住宅の応急修理等に関する協定書)を締結。2011年(平成23年)度より「スマイルリバー」や「献血等の社会貢献活動」を実施。2012年(平成24年) 2月14日 東日本大震災の復旧・復興に多大なる貢献をしたこと、宮城県知事より感謝状を授与。8月28日 東日本大震災の復旧・復興に多大なる貢献をしたこと、仙台市長より感謝状を授与。10月23日 宮城県と防災協定(災害時における被災住宅の応急修理等に関する協定書)を締結。2013年(平成25年) 10月18日 第1回「全中建設ブロック別意見交換会」を開催。国交省、東北地方整備局他総勢20名出席。以後、2年に1回開催。2014年(平成26年) 6月3日 2代目代表理事(会長)として宮城洋幸氏就任。2017年(平成29年) 12月11日 郡和子仙台市長訪問。地元中小建設業界の現状と今後の支援要請会を他理事6名で訪問。2018年(平成30年) 7月9日 村井宮城県知事訪問。地元中小建設業界の現状と今後の支援要請等の意見交換会実施。会長他理事12名で訪問。2019年(令和元年) 9月25日 スマイルリバー活動功績者として、宮城県より感謝状を授与。会員各社が10月の台風19号被災地各地に赴き、災害復旧・復興に奔走。12月11日 青年部会(台風19号被災地の丸森町)の活動功績者として、スマイル活動を行った。2020年(令和2年) 2月3日 長年の献血活動の功績者として、仙台市より感謝状を授与。4月24日 新型コロナウイルスに伴い宮城県と仙台市へマスク各10000枚づつ寄贈。会員全社にも配布。現在の会員数 97社

一般社団法人 みやぎ中小建設業協会設立10周年を心よりお祝い申し上げます

Grid of member companies including: 正建株式会社, 株式会社 清和建設, 誠新ランドテック株式会社, セフティライン株式会社, 株式会社 大幸建設, 泰誠機械工業株式会社, 株式会社 高正工務店, 株式会社 タカヤ, 丹野土木株式会社, 田中シビルテック(株)東北支店, ディックライト株式会社, 同事建設株式会社, 東北化工建設株式会社, 株式会社 東北三恵, 株式会社 ヲラテツ株式会社, 株式会社 TOHO, 株式会社 トップ・マネジメント, 株式会社 ナスキー, 有限会社 ナルセ建設, 日新商事株式会社, 株式会社 日総, 日成施設株式会社, 株式会社 BWM, 株式会社 東日本開発, 株式会社 光, 株式会社 平間建設, 株式会社 ファインテック, 株式会社 福永建設工業 東北支店, 株式会社 扶桑エンジニアリング, 船山建設株式会社, 北部ハウズ工業株式会社, 星造園土木株式会社, 株式会社 本郷土建, 丸敏建設株式会社, ミカド電装商事株式会社, 宮城建設工業株式会社, 村上建設工業株式会社, 株式会社 メイビック, 株式会社 やまじゅう産業, 株式会社 和建設, ヤマト建設工業株式会社, やまびこ工業株式会社, 株式会社 ヤマムラ, 株式会社 ユアテック宮城サービス, 有限会社 湯山建設, 我妻建設株式会社, 株式会社 ワタケン, 株式会社 渡辺工務店

一方で、東京都と全中建からみやぎ中対し、相互の防災協定を結んでほしいという要請もきています。

これは、例えば東京都で大規模な災害が発生した際は、この宮城県から会員各社の持つ重機や車両を持って応援に駆け付けるといふ、互いの有事に助け合う「応援協定」で、すでに意見交換を行うなど前向きな検討作業に入っています。

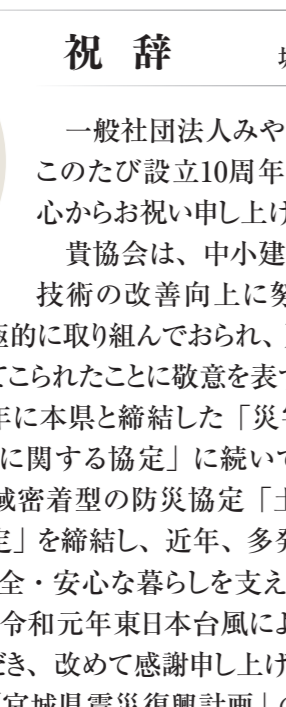
畑中 東京に限らず大阪や広島などの遠距離都市と防災協定を結ぶことで、有事にすぐには動けなくても時差が必要な物資を見極め

取組んでいることは、畑中 県や仙台市との意見交換は定期的に行っており、その効果もあって宮城会長は、建設業の今後の振興策を示す「新・みやぎ建設産業振興プラン」策定に関



畑中孝治副会長(初代会長)

祝辞 城県知事 村井嘉浩
一般社団法人みやぎ中小建設業協会が、このたび設立10周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。



祝辞
一般社団法人みやぎ中小建設業協会が、このたび設立10周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

つです。協会の認知度は高まっていると感じています。

宮城 一方で、この企業も担い手不足は深刻な問題となってます。若手入職者の減少、離職率も高い傾向にあり、各企業で現場見学会など若い人に建設業を正しく理解してもらうための活動を行っているほか、発注機関からの依頼で教育機関での講演や講師の派遣にも取り組んでいますが、企業の努力だけでは建設業界に目を向けてもらうことはなかなか難しいと感じます。

畑中 昨年は若手確保に向けて県と建設業界との意見交換会を行ったほか、全中建も協会の広報誌で女性職者にスポットを当てた特集を組みむなど力を入れています。

協会では社会貢献活動にも力を入れています。宮城 ボランティアで県管理施設の河川の清掃などを行う七北田川のスミイルリバーは約50人の会員企業が参加しており、10年目を当たり功労者として宮城県より表彰を受けています。

入札制度など、行政に對する要望は畑中 総合評価制度において、指定地方公共機関の評価項目は、1団体

指定地方公共機関の評価項目は、1団体。公平が感じられるため、県には公平・公正な立場から評価制度の見直しを要望していきま

本年度は、「宮城県震災復興計画」の最終年度であります。県といたしましては、復興の総仕上げと復興期間後を見据え、建設技術向上の推進、働き方改革による魅力ある建設現場の実現、担い手確保などの課題に取り組みながら、建設業の発展に向けた支援を行ってまいりますので、貴協会におかれましても、ふるさと宮城の持続的な発展に引き続きご尽力賜いますようお願い申し上げます。

結びに、今後の貴協会のますますのご発展と会員の皆さまのご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

# 切磋琢磨し

員企業も大変満足したようでした。

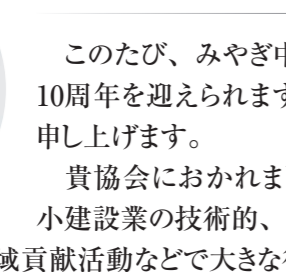
生産性の向上や働き方改革など、変革が求められています。宮城 10(平成22)年9月に全中建に加入したことで、速やかに国からの情報が入りやすくなりました。

変化が求められていくのが会員企業共通の認識を持てるようになり、いまだに建設環境にあると感じています。復興需要の終息に伴う公共投資の減少など、すでに

環境にあると感じています。復興需要の終息に伴う公共投資の減少など、すでに反動は出ており厳しい経営状況です。この時期だからこそ、やる気のある企業に入社していただき互いに切磋琢磨し、さまざまな意見を聞き入れ協力を発展させていきたいと思います。

今後、次の世代に向け協会を取り組むべきことは、畑中 東日本大震災の発生後、すぐに全中建が応援に駆けつけていただきました。また、全中建協会団体の冲縄県中小建設業協会、愛知土木研究会、横浜建設業協会、愛知岡崎土木研究会、若手経営者部会、全中建設者部会、大阪府中小建設業協会若手経営者の会、全中建設多摩と震災を教訓とした意見交換を行い、東京都中小建設業協会とは防災協定を含めた情報交換を行っています。こうした全

祝辞 仙台市長 郡和子
このたび、みやぎ中小建設業協会が設立10周年を迎えられますことを、心からお祝い申し上げます。



祝辞
このたび、みやぎ中小建設業協会が設立10周年を迎えられますことを、心からお祝い申し上げます。

## (一社)みやぎ中小建設業協会概要

【目的】
当協会は、中小建設業者をもって組織し、中小建設業を技術的、経済的および社会的に向上させ、公共の福祉を増進させることを目的とする

【事業】
1. 中小建設業に関する経営および建設技術の改善向上のための調査研究
2. 建設業に関する各種情報、資料の収集ならびにその提供
3. 中小建設業に関する法制および施策の調査研究
4. 建設工事の安全施工を図るための研究指導
5. 中小建設業者の社会的地位の向上を図るための建議陳情
6. その他当法人の目的を達成するために必要な一切の事業

【防災協定】
1. 2011年4月1日 仙台市「災害時における被災住宅の応急修理等に関する協定書」
2. 2012年10月23日 宮城県「災害時における被災住宅の応急修理等に関する協定書」
3. 2017年12月27日 宮城県大河原土木事務所「土砂災害危険箇所の点検に関する協定書」

【全国団体加入】
2010年9月17日 一般社団法人全国中小建設業協会に加入。宮城県支部として活動開始
事務局/〒981-3117 仙台市泉区市名坂字南前5-3 TEL.022-375-0889 FAX.022-375-0881

## 一般社団法人 みやぎ中小建設業協会設立10周年を心よりお祝い申し上げます

一社会に奉仕する 力強い地場産業を目指して 一般社団法人 全国中小建設業協会宮城支部 一般社団法人 みやぎ中小建設業協会 会長 宮城 洋幸

有限会社 赤坂舗装建設 代表取締役 赤坂 富士男 〒981-1502 宮城県角田市尾山字香取原25 TEL.0224-62-0186 FAX.0224-62-2244

アクトス建設 株式会社 代表取締役 庄司 知至 〒984-0838 仙台市若林区上飯田2丁目5番34号 TEL.022-294-9880 FAX.022-294-9881

旭興業 株式会社 代表取締役 浅野 新一 〒981-4200 宮城県加美郡加美町字蓮田48番地 TEL.0229-67-3331 FAX.0229-67-3334

アサヒ工業 株式会社 代表取締役 加藤 繁 〒981-3133 仙台市泉区泉中央2丁目23番10号 TEL.022-372-0600 FAX.022-372-4347

株式会社 アネステイ 代表取締役 永根 悦郎 〒981-3117 仙台市泉区市名坂字御釜田145番地の3 TEL.022-218-0350 FAX.022-218-0349

大西開発 株式会社 代表取締役 菅原 章 〒989-1305 宮城県栗田郡村田大字村田字石生270番地2 TEL.0224-83-4590 FAX.0224-83-4592

株式会社 荒産業 代表取締役 荒 孝治 〒989-4303 宮城県大崎町大沢字柳沢北19 TEL.0229-39-0666 FAX.0229-39-7992

株式会社 石井土木 代表取締役 土田 勝広 〒980-0812 仙台市青葉区片平1丁目22-10イパーパークビル4階 TEL.022-393-6446 FAX.022-393-6445

株式会社 井上組 代表取締役 井上 秀樹 〒987-1505 宮城県角田市角田字幸町7番地 TEL.0224-63-1267 FAX.0224-63-3693

株式会社 ウジ工道路工業 代表取締役 氏家 良至 〒981-1502 宮城県角田市尾山字横町63番地1 TEL.0224-63-5414 FAX.0224-63-5415

株式会社 エム建設 代表取締役 佐々木 宗光 〒981-8003 仙台市泉区南光台4丁目13番4号 TEL.022-301-5385 FAX.022-301-5386

株式会社 菊森建設工業 代表取締役 菊森 博 〒987-0141 宮城県遠田郡涌谷町字町町里131番地 TEL.0229-43-2243 FAX.0229-42-3241

株式会社 ガーデン二賀地 代表取締役 田中 穂光 〒989-3124 仙台市青葉区上愛子字遠野原34-1 TEL.022-592-4128 FAX.022-592-3184

和建設 株式会社 代表取締役 畑中 和紀 〒989-0113 宮城県白石市越河字鍛冶台40 TEL.0224-28-2848 FAX.0224-28-2840

株式会社 環境施設 代表取締役 田中 直継 〒983-0803 仙台市宮城野区小田原2丁目1番35号 TEL.022-762-7551 FAX.022-762-7552

有限会社 菅野工務店 代表取締役 菅野 純 〒989-1201 宮城県栗田郡大河原町大字谷館前5 TEL.0224-53-3797 FAX.0224-52-4327

株式会社 菅野工務店 代表取締役 西谷 卓夫 〒989-2436 宮城県岩沼市吹上3丁目2番22号 TEL.0223-22-2820 FAX.0223-22-4449

株式会社 建築辛屋 代表取締役社長 小野 幸樹 〒981-3121 仙台市泉区上谷刈6丁目11番6号 TEL.022-725-2261 FAX.022-725-2262

巧成建設 株式会社 代表取締役会長 藤原 成一 代表取締役社長 畑中 孝治 〒981-3124 仙台市泉区野村字宮前34-8 TEL.022-373-9002 FAX.022-373-8827

株式会社 コウリョウ 代表取締役 鈴木 宣子 〒984-0015 仙台市若林区卸町3丁目4番10号 TEL.022-244-9521 FAX.022-244-9523

株式会社 コサカ 代表取締役 船橋 吾一 〒983-0034 仙台市宮城野区扇町5丁目8番4号 TEL.022-783-1010 FAX.022-783-1013

株式会社 今野建設 代表取締役 今野 幸衛 〒989-1302 宮城県栗田郡村田町大字小泉字西浦108 TEL.0224-83-2340 FAX.0224-83-5591

株式会社 斎藤工務店 代表取締役 斎藤 清和 〒989-1217 宮城県栗田郡大河原町字錦町5-13 TEL.0224-53-2242 FAX.0224-52-0755

株式会社 澤田建設 代表取締役 遠藤 寛士 〒981-0911 仙台市青葉区台原2丁目1番12号 TEL.022-347-3271 FAX.022-347-3272

サン工業 株式会社 取締役会長 小野寺 昭文 代表取締役 小野寺 徹 〒981-3121 仙台市泉区上谷刈字山添1-1 TEL.022-378-2255 FAX.022-378-8756

株式会社 さんのう 代表取締役 海老澤 恒夫 〒989-3124 仙台市青葉区上愛子字岩田原49番6 TEL.022-391-1356 FAX.022-391-1350

株式会社 サンホーム 代表取締役 齋藤 照雄 〒982-0003 仙台市太白区郡山字穴田東1-1 TEL.022-249-7515 FAX.022-249-7585

株式会社 G・G・G 代表取締役 千葉 智久 〒981-3124 仙台市泉区野村字野村95-2 TEL.022-346-0672 FAX.022-346-0673

有限会社 渋谷組 代表取締役 渋谷 勝義 〒989-2204 宮城県亶理郡山元町麓足字南中江28 TEL.0223-37-0267 FAX.0223-37-0265